

令和5年度 第3回 白脇小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月16日（木） 13時30分から15時15分まで
- 2 開催場所 白脇小学校 会議室
- 3 出席委員 田口 博、鶴屋 義照、柳川 樹一郎、清水 哲夫、外波山 裕康、
鈴木 真智子、望月 真菜
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 水村 辰也（校長）、大石 みや（教頭）、河口 裕之（主幹教諭）、
植田 敬子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 白脇協働センター コミュニティ担当 石塚 訓岳
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 植田 敬子
- 10 議長の選出

司会の河口より、議長の選出について、員に確認を求めたところ、会長を推挙する旨の発言あり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校評価について
- (2) 持続可能なCSボランティアの体制について

12 会議記録

司会の河口から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

校長から学校の日々の取り組みをスライド交え説明。

- ・ 150周年記念運動会の報告
 - ・ 朝会で子供たちに話をした「おもいやり算」の行動を心がけることの大切さの説明。
- (1) 学校評価について

学校評価を通して、今後の教育活動に成果や課題を反映していき、よりより教育活動を目指す一助とする。

今回実施した夏期の児童アンケートの結果から抜粋し、下記3点における取り組み対策を説明。

- ①「目を見て・笑顔で・明るい声で」あいさつをしている。
→朝会でのあいさつ当番、あいさつ週間でのあいさつ運動。
- ②困ったことや悲しいことを相談できる相手がいる。
→生活アンケートを実施し、困り感に寄り添う姿勢。
- ③自分のことを大切にしている、命は大切なものだと思っている、相手の嫌がること（いじめ）はしてはいけないと思っている。
→いじめに関して考える集会（6年）、その後全校へ周知する。生活アンケート、いじめアンケートの実施、活用。

委員からは以下の発言があった。

<運動会>

- ・自分に集中する、強い心を持って運動会に取り組む子供たちの姿が印象的であった。(清水委員)
- ・学年団の運動会は人数もちょうど良く締まっていて、クラスのまとまりを感じた。(外波山委員)

<あいさつ>

- ・あいさつの習慣づけが大切で、小学生のうちは耕す時期、中学校は実践の場であると思っている。子供たち自身があいさつの必要性を感じるまで、学校・地域が声を掛け続けていくことが大切だと思う。(鶴屋委員、外波山委員)
- ・あいさつは子供だけでなく、親にも教えるべき。家庭ではどの程度意識しているか。(田口委員)
- ・あいさつは最小限のコミュニケーションであり、資源物回収が良い機会になっている。コミュニケーショントレーニングを取り入れて体感させることも良い。(柳川委員)

<自己有用感・効力感>

- ・行事において感じられることは良いが、行事だけでなく日々ある授業で感じさせていくことが大切である。日々モチベーションを上げられるような機会を作る。(鶴屋委員)
- ・褒めて育てる。(外波山委員、田口委員)

<その他>

- ・親、子供ともに日々追われる生活で、親子の会話が少ない現実、共に行動をすることも減っている。→親の姿を見せる場面が少なくなっている(鈴木委員)
- ・生活の中に学びをとということで、防災を身近に取り入れられる環境作り(黄色いタオル運動など)目指している。(清水委員)

(2) 持続可能なCSボランティアの体制について

グランドデザインの学校教育目標に沿った児童への支援策の必要性(子供たちの成功体験の蓄積や学習の「個」に合わせた教育には、人手が必要であること。)を説明。

委員からは、以下の発言があった。

- ・学年に限らず、枠を広げて募集するのはどうか?(望月委員)
- ・民生委員の協力はどうか?(田口委員、清水委員)
→働き方改革により、民生委員自体のなり手が不足している現実(外波山委員)
- ・孫のいる祖父母への声掛け、子供たちから祖父母に手紙を書く。(田口委員)
- ・協働センターから協力を依頼してもらえないか。(外波山委員)
- ・今の学校の実情を知っていて、地域を熟知しているPTA OBなど、そういう人材を探したい。今後コミスクだより等通じて、募集をかけていきたい。(学校側)

その他連絡事項等

司会から、12月8日の音楽会において、150周年記念式典が行われること、「市民への約束」アンケート・学校評価アンケート参加への協力依頼があった。

次回会議は、令和6年1月31日(水)午後13時15分から会議室で開催する旨の報告。また次回の議長も田口委員が務めることを、全員異議無くこれを承認した。